

# 栗原市教育研究センター通信

創刊号 平成27年10月発行

『栗原市教育研究センター通信』創刊にあたって

栗原市教育研究センター所長 鈴木 俊

常日頃より、教育研究センター事業の推進・運営につきましては、関係各位より、ご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、このたび、『栗原市教育研究センター通信』を創刊する運びとなりました。

本センターでは、運営方針のキーワードに「交流」・「支援」・「発信」を据えており、2年目となる今年度は、重点事項の一つに「発信」を掲げて、事業を進めております。

これまでも、広く市民に向けて、本センターの事業概要を栗原市のウェブページに掲載したり、研修会の様子的一端等について、『広報くりはら』の学校教育の窓「教育研究センターから」で定期的に紹介したりして、情報を発信してまいりました。

『栗原市教育研究センター通信』では、教職員向けに、幼稚園や学校の授業であつたり、研修であつたり様々な特色ある取組や先生方の日々の活躍の様子など、主催研修会の紹介にとどまらず先生方が互いに生かせるものを、ここ藤兵衛山\*から発信できればと考えております。

なお、情報の収集・取材等につきましては、園や学校を訪問したり、電話でお話を聞いたりするなど様々な形でご協力をいただきますが、どうぞよろしくお願いたします。

結びになりますが、本センターでは、交流、研修、研究・調査など、市内幼稚園や学校、そして、時代のニーズに応えられる充実した事業を展開して参りたいと考えております。

今後とも、事業の推進・運営により一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます、『栗原市教育研究センター通信』創刊にあたってのあいさつといたします。

\* 沢辺西館跡（本センター南側の小山）の通称



現在、栗原市内の小学校でも、指導者用デジタル教科書を活用した授業を見る機会が増えています。

先日伺った瀬峰小学校では、各学年の教室に教育用パソコンセット（ノートPC・書画カメラ・プロジェクタ・マグネットスクリーン等）を配置するなど、ICT環境を整えており、その活用に全職員で取り組んでいるそうです。4年算数科のTTの授業では、デジタル教科書のメリットである「教科書どおりに図や文字が鮮明に拡大提示できる」ことを生かした課題の提示の工夫や前時までの内容を想起させ、立式や解決方法の見通しをもたせる工夫がなされており、児童は楽しく学び最後まで集中して取り組んでいました。

皆さんの学校でも、授業を構成するための引き出しの一つとして、瀬峰小学校のように普通の授業で、ICTを活用した授業づくりに取り組んでみませんか。

今年度、本センターでは、3回のICT活用研修会に加え、1月には、「ICT機器を取り入れた授業づくり」をテーマに、第5回算数・数学研修会を開催する予定です。

より多くの先生方の参加をお待ちしています。

〈特任教授 千葉文彦〉

発行責任者

栗原市教育研究センター 所長 鈴木俊

栗原市金成沢辺西大寺1-5

TEL/FAX 42-1157

教育相談専用電話 42-1230